

1. 学校評価総括

建学の理念	「国家・社会の負託に応える有為の人材を育成する」	
教育目標	幼児の発達段階に応じて一人ひとりの個性を生かし、気品と礼節のある子ども、強健な体と豊かな感性を持つ子ども、自立的かつ自律的精神を持つ子ども、表情の豊かな子どもを育成する。	
これまでの成果と課題	自然を軸とした独自の保育内容は、保護者ならびに幼児教育界で高く評価されている。また、園児の個性を尊重した表現活動を様々な場で展開し、感性豊かな幼児の育成に努めた。 今後も質の高い教育活動と保護者のニーズにこたえる教育環境の実現に向けて取り組んでいきたい。	
本年度の重点目標	具体的目標	総合評価・特記事項
保育内容の充実	公德心の涵養	1月と3月に開催した公開研究会には150名を超える参観者があり、本園の自然を軸にしたカリキュラムによる園児の表現活動に対し、高い評価を得た。 通常預かり保育の午後6時までの実施と、長期休業中の預かり保育の年間20日の実施は、保護者のニーズに応える取り組みとして高い支持を得た。 園児募集に関しては、3年保育で昨年度より4名増となったが、募集人員を確保すべく、更なる広報活動の検討と充実が必要である。
	園児の表現力向上のための保育内容の点検・改善	
	身体能力向上のための環境整備	
教員の意識改革・行動改革推進	自己点検シートを通して自己の教育活動を振り返る	
園児募集活動の強化	帝塚山幼稚園教育の広報活動の充実	

2. 教育活動に関する評価

具体的目標・具体的方策	評価指標	自己評価結果	
教育目標の設定	建学の精神と幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育方針にしたがい教育目標を設定する	A	A
教育目標の周知	園の教育目標を教職員、保護者に恒常的に周知を図る	A	A
指導計画の作成	教育要領、教育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成する	A	A
	あそびを通して工夫したり、友だちと協力できる力を向上する	A	
	規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行なう	A	
研修	全職員が年に1回以上園内公開保育を行なう	A	A
	外部研修に積極的に参加し、その内容・頻度及び結果報告をする	A	
	参加した外部研修の成果を内部研修などで発表し、教職員の共通理解を図る	A	

評価は4段階【A：十分である（よくできた）、B：ほぼ十分である（できた）、C：あまり十分でない（あまりできなかった）、D：改善を要する（できなかった）】

3. 学校経営に関する評価

具体的目標・具体的方策	評価指標	自己評価結果	
組織運営	園長の指導のもと、教育目標の周知を図る	A	A
	校務分掌の適切な運営とその責任体制を整備する	A	
安全管理	安全点検マニュアルの周知徹底を図る	A	A
	日常の安全点検・定期的安全点検を充実させる	B	
保健管理	地域保健・医療機関との連携を密にする	B	A
	日常の健康観察をきめ細かく行う	A	
	園児の怪我等に速やかに対応する	A	
情報管理	個人情報適切な管理に努める	A	A
	公文書の管理・保管を徹底する	A	
保護者との連携	育友会活動に参加し、連携を緊密にする	A	A
	保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応をはかる	A	
情報提供	園だより等で幼稚園の情報を発信していく	A	A
	「クラスだより」は毎月発信して情報を共有する	A	
	「ホームページ」での情報の発信と新しい情報の更新に努力する	A	
子育て支援	子育て支援講座を定期的実施する	A	A
預かり保育	保護者の要望に応じて預かり保育を行う	A	A
園児募集・広報	子どもや保護者に幼稚園に対する親密感を感じさせている	A	A
	子どもや保護者に効果的な案内を行っている	A	A
	外部から依頼のあった入園説明会に参加している	A	A
	ホームページの更新や園案内の送付を継続的に行っている	A	A

評価は4段階【A：十分である（よくできた）、B：ほぼ十分である（できた）、C：あまり十分でない（あまりできなかった）、D：改善を要する（できなかった）】